

NPO 法人 京都丹波・丹後ネットワーク

2019 年度事業計画書

2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

目次

2019年度 事業計画にあたって.....	2
(予定事業一覧)	
組織基盤強化事業.....	3
NPO 等団体活動支援事業	3
情報発信支援事業.....	4
NPOと自治会の防災・減災計画のための事業継続計画 (BCP)作成講座等実施事業.....	5
地域ショップ販売支援事業	6
たんたんスペース活用事業	7
課題を抱える親子・高齢者への支援	8
外国人に対する防災研修事業	8
組織概要.....	9

2019 年度 事業計画にあたって

1. 本年度の基本方針

2010 年 6 月 9 日、NPO 法人 京都丹波・丹後ネットワークを設立し、今年で 9 周年を迎えます。

設立以来、①NPO 法人等ネットワーク構築・活動支援事業、②人づくり事業、③地域デザイン(収益事業)などを軸に、人と人、団体と団体(NPO、自治体、企業、行政、大学など)のネットワークを構築することにより、京都丹波・丹後地域の活性化をめざし、活動してまいりました。

そこから見えてきたものは、まちづくり、地域づくりはイベントではなく、未来を生きる人たちのことも考えて福祉・環境・防災・観光などすべてのことを総合的に考え実行していくもので、行政だけでなく多様な主体が共に知恵を出し合って進めていくしかないのだということです。

その中で今後必要なことは、中長期ビジョンを構想し、5年後10年後の地域、そして NPO の目指す姿(私たちは何のために存在するのか)を描き、それに沿って1年1年を積み重ねていくことです。

今年度も引き続き、福祉系 NPO やまちづくり系 NPO への情報発信の提案や支援を行う中で、まちづくりに対して俯瞰の目を持って、福祉分野・環境分野などを含めた総合的な地域づくりに向けた取り組みを行っていきたいと考えています。

また、多様な人たちが暮らすこの地域で、すべての人たちがこの町に住んで良かったと思えるよう、互いが協力し合える関係づくりをサポートしていきたいと思っています。

これらを実現するために、組織の見直しを行う手段として、パナソニックのサポートファンド事業への応募を検討しているところです。

2. 重点項目

中間支援としての役割の見直し

- NPO 等団体活動支援
- 情報受発信支援
- 地域ショップ交流支援

未来のまちづくり支援

- たんたん X 交差点…「地域」を様々な視点から学び、未来のまちづくりを多様な主体が共に考え行動に結び付けられるようなまちづくり講座を開催
- 居場所づくり・交流の場づくり…孤立する高齢者や家庭に何らかの課題を抱える親子などが安心して集まれる場を作り、信頼できる関係を築くことで、協力し合って暮らせるコミュニティを作る
- 地域において防災の意識を高め、防災計画を立てるほか、防災 BBQ の場を交流の場、コミュニティ再生の場にする
- 今後増加する在住外国人に対しても防災研修と交流会を行い、防災意識を高める。

①組織基盤強化事業

組織課題を明らかにするために組織診断や、具体的な組織課題の解決、組織運営を改善するための組織基盤強化に取り組むため、組織基盤強化。パナソニック株式会社「NPO / NGO サポートファンド for SDGs」ファンドの助成に応募し、活動の持続発展、社会課題の解決促進、社会変革に向け、誰もが生き活きとくらす共生社会を目指す。

②NPO 等団体活動支援事業

NPO等支援(NPO 法人、自治会、市町村等)

⇒組織や運営を見直し、それぞれのミッション達成、地域活性化へ

・NPO 活動分析・アドバイス等支援事業

内容：NPO からの依頼を受けて、年間を通して活動の分析・アドバイス等を行う。

・災害復興支援NPOリレーションズ実行委員会メンバーとしての活動

活動趣旨..... 近年京都府でも増加傾向にある自然災害による被害に対応し、NPO 等が有する高度な専門性や豊富な現場経験を活かし、被災地で個別具体的かつ中長期的な復興支援活動ができる連絡・派遣の仕組み「災害時連携NPO等ネットワーク」の充実を図る。

活動内容..... 趣旨を理解していただき、市民や団体に参加を呼びかける

- ・ 「災害時連携NPO等ネットワーク」の充実を図るため、会議への参加
- ・ 京都北部独自の取り組み

・その他支援事業

- ・ Web ページ及び Facebook ページによる情報発信
- ・ NPO 法改正に伴う支援
- ・ 助成金等申請支援
- ・ 会計・収支報告等支援
- ・ マネジメント支援
- ・ 人・団体・企業・大学・行政等とのネットワークづくり

③情報発信支援事業(収益事業)

1 事業の趣旨・特徴

事業への思い

地域(企業)情報やコンテンツをデザインし、京都北部の情報発信力を高め、魅力ある発信を行うことにより、住みやすい地域をつくり、地域経済の活性化を促す。

さらに、地域と団体、企業等をつなぎ、コーディネートすることにより、京都北部が一体となった活性化を進める支援を行う。

事業背景

【京都北部の課題と事業の背景】

京都北部は海と山を兼ね備えた素晴らしい地域であるが、地域をデザインする能力、発信する能力の不足などから、地域自体もその魅力をどのように活かせばよいのかわからず、京都北部の魅力を伝えきれていない。

また、企業においては中小零細企業が中心であるため、せっかく情報発信ツールとしてのHPを持っていたとしても、活用・更新されないままであったり、スマホ対応されていないなど、現状に即さないものが多く見受けられ、新たな顧客の獲得や有能な人材の確保、他地域への魅力発信がうまくなされていない。

とりわけ、NPO にあっては HP などの情報発信手段を持たないところも多く、素晴らしい活動をしている、それを利用者などに知ってもらえないケースが数多く見受けられる。

特に福祉関係や人権などの NPO については、活動が知られていないために利用機会を失い、利用者の命を左右することも多く、今後行政の財源や職員数が減少していくことを考えると、一つひとつの活動を周知することはとても重要になってくる。

2 事業の概要等

●地元企業・団体応援のためのトータルデザイン

【特徴と内容】

HPやSNSをそれぞれの特徴を生かし、うまく活用することで、団体の活動内容や魅力を発信、あるいは企業の顧客獲得、人材確保等につながるよう、①コンテンツの内容(何を誰に何のために発信したいのかなど) ②更新のしやすさ ③SNSとの連動 ④スマホ対応 ⑤魅力あるデザインを考えて、利用者・顧客目線のHPやFBページ、ロゴ等を作成

●地元企業・団体へのIT活用継続支援

【特徴と内容】

ふるさと納税サイト、旅行・宿泊情報サイトなどへの登録や管理を代行して行う。ITの活用に慣れていない農業

者等の販路拡大、情報発信を支援。

④NPOと自治会の防災・減災計画のための事業継続計画 (BCP)作成講座等実施事業

1 事業の趣旨・特徴

<助成金額>

1,280,000 円

事業背景及び必要性

京都北部では毎年のように自然災害が発生し、避難勧告・避難指示が出されることも頻繁にあり、避難される方の中には介護が必要な高齢者や障害者、外国人などが含まれる。日常的にその人たちを支援するNPOも存在するが、災害時にはそれらのNPOも被災する可能性があり、復興できなければ時には命にかかわるようなケースも出てくる。そこで、災害が起きても事業・業務を継続し、NPO と地域が連携する仕組みを双方が作っておくことにより、災害発生後の地域コミュニティの継続、再生につながる。

(目的)災害時要援護者を支援する NPO が災害に遭っても重要業務を継続できるよう、それぞれの NPO の想定被害状況を確認し、被災の程度や状況に応じた事業継続計画を立てておくことによって、より多くの災害時要援護者を救うことが出来る。また、自治会などにおいても災害時の対応を見直し災害時要援護者の把握と支援等の計画を立てておくことは、今後の大規模災害に備えるうえで重要である。この事業は、NPO と自治会等双方を支援し連携させることで、災害時に強いまちをつくり、誰もが安心してそのまちに住み続けることが出来る仕組み・体制を作ることを目的とする。

2 事業の概要等

<NPO に対する事業>

- ①京都北部の NPO に対して、NPO 版事業継続計画(BCP)の簡単な説明とその作成講座の募集チラシと共に、災害時対応等に関する自己チェックシートを配布
- ②NPO 版事業継続計画作成講座を京都北部の 3 カ所で実施
- ③事業継続計画を作成する NPO に対して、当 NPO がアドバイスしながら案を完成
- ④再度 3 カ所でワークショップを行い、専門家のアドバイスを心得て事業継続計画を完成
- ⑤NPO 版事業継続計画の作成マニュアルを作成し、京都北部の NPO に配布する。また、災害時直接受益につながるような NPO の一覧をまとめ、自治会等が利用できるようにする

<自治会に対する事業>

- ①コミュニティ継続計画(自治会版 BCP)作成講座…専門家による各自治会周辺のハザードマップ等の確認及びコミュニティ継続計画の説明と作成方法を関係者及び参加住民に行う(モデルになる3地域程度を想定)
- ②案の作成は後日ワークショップ形式で行い、専門家のアドバイスによる修正
- ③同日 BBQ 協会の会員等に参加いただき、災害時に必要な炊き出しに活用できて横のつながりを作ることに
もつながらる防災バーベキューを実施

⑤地域ショップ販売支援事業(収益事業)

1 事業の趣旨・特徴

事業への想い

福知山の旧3町など過疎が心配される地域の特産品を、それぞれの地域のアンテナショップとして月1回販売することで、市街地の人にも商品を知ってもらうきっかけにする。

また、地域の空きスペースを活用して、地域に賑わいを取り戻すことも可能になる。

事業背景

【事業の背景】

三和地域や大江地域などでは、「夕焼け×マーケット」「鬼和味」などが地域ショップとして特産品を販売されているが、それをより多くの方に知っていただくためのきっかけになるのではという思いと、事務所の大家さんが空きスペースを活用して何か地域のために出来ないかという相談に応じる形で月一回の開催を決めた。

2 事業の概要等

●月一でアンテナショップ「たんたん市場」を開催⇒地域ショップの募集、取りまとめ、広報等を担当
命の里助成金を活用(2019.6 末まで)

【特徴と内容】

それぞれの地域の特産品の物語(こだわりや伝統など)を、SNS やちらし、新聞記事などを活用して文字にし、商品をただ販売するのではなく、地域の思い、作り手の思いまでも販売する。また、それぞれのショップの交流の場、情報交換の場としても活用。

【期間・日時】

2017年8月～ 毎月第4金曜日14:00～17:00

【商品】地域の農産品から加工品まで

【広報】ちらし、新聞記事、SNS 他

⑥たんたんスペース活用事業

1 事業の趣旨・特徴

事業への想い

まちづくりを推進していくためには、様々な人が集まり、情報を共有し合い、話し合う場が必要となる。

市街地にそういった場が作れたことは未来のまちづくりに必ず通じると考えている。

私たちはこの場をより活用しやすいものとして、より多くの人、団体に使っていただけるよう発信していきたいと思っている。

事業背景

【事業の背景】

当 NPO の隣の空き部屋を、大家さまのご厚意で使用させていただけることとなり、どのような活用方法が出来るかを話し合い、親子への支援・高齢者支援・講座などの開催を含むまちづくりの拠点として活用していくことにした。

2 事業の概要等

●「たんたん X 交差点」まちづくり講座 & 交流

【内容】毎月まちづくりに関するテーマを設定し、専門の講師をお招きして講座を開催。前半は講座、後半は参加者で食事を取りながら交流。

【期間・日時】2018年3月～継続 毎月第2金曜日19:00～21:00

【広報】HP、FB ページ、ちらし、口コミ

●市民のための各種講座

【内容】認知症サポーター養成講座、認知症予防講座（コグニサイズ）、スマホ決済アプリ使い方講座などを予定

●毎月第1水曜日はふくちやま CAP の「つながる一む」

⇒場の提供と情報発信支援

【内容】ふくちやま CAP の活動。子育ての悩みを話したり、相談できる場を月 1 回儲け、偶数月はワークショップ形式で、奇数月は個別相談日として活用する。

【期間・日時】2018年3月～ 毎月第1水曜日10:00～12:00

【広報】HP、FB ページ、ちらし、口コミ

⑦課題を抱える親子・高齢者への支援

1 事業の趣旨

●課題を抱える親子への支援

「どんどこひろば」：日本 NPO センター助成事業（児童館協働事業）

目的：それぞれの親や子が課題を抱えながらも、一つの場に集まり、様々な人と関わる中で、心の居場所を見つけ、笑顔を取り戻す。

●高齢者への支援

地域交響プロジェクトの活用を検討中

「たんたん食堂」：食生活においても地域においても孤立しがちな独居高齢者などに対して、月 1 回昼食を提供するとともに、介護予防体操、囲碁や将棋、花札、おしゃべりなどを楽しめる空間を作る。

可能であれば、栄養バランスと美味しさを兼ね備えた「弁当」の販売も行う。

「出張写真撮影」：歳を重ねるにつれ、写真を写す機会が減っていき、気が付いたら集合写真しか残っていない、そんな中高齢者が増えている。子どもたちや孫のためにも、そして自分自身が生きた証としても、一年に一度、気に入った場所、気に入った服装で写真に残す。

⑧外国人に対する防災研修事業

1 事業の趣旨

京都北部では近年水害などの災害が多く発生しているが、今後ますます増加するであろうと思われる外国人に対して、災害時の研修を行うとともに、地域の人たちとの交流の場を創出する。

●福知山(京都北部)で暮らす外国人のための災害時の支援

外国人と外交にルーツを持つ人、支援者向け災害時研修&防災BBQ前年度からの継続事業：外国人、地域の人、子どもたち、支援者たちが一堂に集まる防災研修と防災 BBQ を開催し、災害時だけでなく平時から互いが助け合える環境を整える。

外国人に対する災害時研修：上記事業の継続手段として真如苑の助成申請を検討中

日本防災士会などと連携して、中小企業にも呼びかけ、技能実習生等として京都北部に来ている外国人なども対象に災害時研修を数カ所実施。

NPO 法人 京都丹波・丹後ネットワーク組織概要

会員・寄付金

正会員（1口 1,000 円）15名

寄附目標 300,000 円

事務局体制

当 NPO の副理事長が事務局長として通年勤務。他 NPO スタッフとして1名の理事と1名のスタッフ、計3名体制で活動。必要あるときはアルバイトを雇用。